

経済学会例会

NPO 法人「大学連携・地域創生支援センター」について

藤岡 秀英

要旨

2016年10月16日にNPO法人を設立した。すでに神戸親和女子大学、甲南女子大学をはじめ6つの大学の教員が参加して、兵庫県地域振興課、県下各自治体との連携により「地域創生事業」を展開している。

周知のように、兵庫県の中山間地域では、若者の都市部への移住が地域の高齢化と人口減少に拍車をかけ、地域の経済社会の衰退が急速に進みつつある。兵庫県では全国に先駆けて、地域創生のためのさまざまな事業を展開してきたが、中山間地域にたいして、体系的な支援施策が継続的に行われてきたとは言えない。

また、今日の多くの大学生には、自然環境、社会関係の「体験知」が絶対的に不足している。学問的な想像力、実社会での適応能力を高めるためには、机上の学習だけでは不十分であり、多くの大学で、「地域創生」「地域貢献」との結びつけた体験実習が導入されている。

NPO法人「大学連携・地域創生支援センター」では、兵庫県下の各大学の教員との連携にもとづいて、兵庫県の中山間地域での「体験実習」「地域経済社会の調査研究」「地域住民との懇談会」「商工会をはじめ事業者との交流」を通じて、大学生の体験知を育みながら、住民、事業者、大学間の交流を基礎に「地域創生事業」に取り組むことを目的としている。

多くの専門家、学生・大学院生が参加することで、継続的・体系的な地域創生事業の展開が期待されており、**兵庫県では「大学等との連携による地域創生拠点整備事業」として予算が組まれることになった。**

これから経済学研究科でも、大学院生、大学生の体験実習、現地調査を通じた研究活動のために、NPOとして企画する事業活動に参加を募りたい。学部学生には、この体験実習が実社会で活躍する体験知となり、また、卒業研究、大学院での調査研究にも役立てていただけるものと考えている。

さらに、兵庫県下の他のNPO法人、コンサルタント業者とネットワークを構築しながら、各地域のニードに応じた人材を派遣していくが、そこでは**本学の研究者による地域貢献**も期待されている。教育、研究の舞台として、地域創生事業への貢献の舞台として、ご参加いただけることを切に願う。